

# 地域活性化の観点からの近代化産業遺産の保存・活用について

経 済 産 業 省  
地域経済産業グループ

# 1 . なぜ、今、近代化産業遺産か

地域の活性化を進めていくに当たり、地域活性化を担う方々が、「過去」、すなわち、地域の先人達の歩みを知り、それを受け継ぐ「今」に自信を持ち、その自信を「未来」に向かう活力に繋げていくということは重要。

我が国の産業は、幕末・明治維新以降、他国に例を見ないスピードで近代化を成し遂げたが、近代化産業遺産（幕末から戦前にかけて我が国産業の近代化を支えた工場・機械等）は、現代に生きる我々に、各地域で近代産業の発展に尽くした先人達の歩みを伝え、明日の地域活性化に向けての活力を与えてくれる貴重な財産。



このような近代化産業遺産が有する価値の普及を図ることは、地域活性化にとって有意義。

## 2 . 近代化産業遺産群 3 3 のとりまとめ

近代化産業遺産の価値は、一部のものを除き、単体では伝わり難いもの。

近代化産業遺産の優れた価値を最大限に活用するためには、産業や地域の歴史に沿った形で相互に関連する遺産を整理・編集し、それぞれが我が国産業の近代化の上で果たした役割を明確にすることが重要。



こうした観点から、今回、経済産業省では、各地域から近代化産業遺産を募集し、有識者の方々の御意見を伺いながら、産業史・地域史のストーリーを軸として、33の近代化産業遺産群をとりまとめたところ。

この成果を通じて、多くの方々に近代化産業遺産の優れた価値を認識していただき、地域活性化に向けた取組みをより活発に進めていただくことを企図。

**( 参考 1 ) 3 3 の近代化産業遺産群タイトル**  
**33 Heritage Constellations of Industrial Modernization**

番号	タイトル
1	『近代技術導入事始め』海防を目的とした近代黎明期の技術導入の歩みを物語る近代化産業遺産群
2	欧米諸国に比肩する近代造船業成長の歩みを物語る近代化産業遺産群
3	鉄鋼の国産化に向けた近代製鉄業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
4	建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産などの歩みを物語る近代化産業遺産群
5	外貨獲得と近代日本の国際化に貢献した観光産業草創期の歩みを物語る近代化産業遺産群
6	我が国の近代化を支えた北海道産炭地域の歩みを物語る近代化産業遺産群
7	北海道における近代農業、食品加工業などの発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
8	洋紙の国内自給を目指し北海道へと展開した製紙業の歩みを物語る近代化産業遺産群
9	有数の金属供給源として近代化に貢献した東北地方の鉱業の歩みを物語る近代化産業遺産群
10	京浜工業地帯の重工業化と地域の経済発展を支えた常磐地域の鉱工業の歩みを物語る近代化産業遺産群
11	新潟など関東甲信越地域で始まった我が国近代石油産業の歩みを物語る近代化産業遺産群
12	銅輸出などによる近代化への貢献と鉱害対策への取組みに見る足尾銅山の歩みを物語る近代化産業遺産群
13	『上州から信州そして全国へ』近代製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群
14	『貿易立国の原点』横浜港発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
15	優れた生産体制等により支えられる両毛地域の絹織物業の歩みを物語る近代化産業遺産群
16	激しい産地間競争等を通じ近代産業へと発展した利根川流域等の醸造業の歩みを物語る近代化産業遺産群
17	『重工業化のフロントランナー』京浜工業地帯発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
18	官民の努力により結実した関東甲信越地域などにおけるワイン製造業の歩みを物語る近代化産業遺産群
19	近代技術による増産を達成し我が国近代化に貢献した佐渡、鯛生両鉱山の歩みを物語る近代化産業遺産群
20	近畿の経済や中部のものづくりを支えた中部山岳地域の電源開発の歩みを物語る近代化産業遺産群

番号	タイトル
21	我が国モノづくりの中核を担い続ける中部地域の繊維工業・機械工業の歩みを物語る近代化産業遺産群
22	『羽二重から人絹へ』新たなニーズに挑み続けた福井県などの織物工業の歩みを物語る近代化産業遺産群
23	輸出製品開発や国内需要拡大による中部、近畿、山陰の窯業近代化の歩みを物語る近代化産業遺産群
24	京都における産業の近代化の歩みを物語る琵琶湖疏水などの近代化産業遺産群
25	我が国鉱業近代化のモデルとなった生野鉱山などにおける鉱業の歩みを物語る近代化産業遺産群
26	『軽工業から重工業へ・河岸部から臨海部へ』阪神工業地帯発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
27	商業貿易港として発展し続ける神戸港の歩みを物語る近代化産業遺産群
28	日本酒製造業の近代化を牽引した灘・伏見等の醸造業の歩みを物語る近代化産業遺産群
29	『東洋のマンチェスター』大阪と西日本各地における綿産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
30	地域と様々な関わりを持ちながら我が国の銅生産を支えた瀬戸内の銅山の歩みを物語る近代化産業遺産群
31	産炭地域の特性に応じた近代技術の導入など九州・山口の石炭産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群
32	九州南部における産業創出とこれを支えた電源開発・物資輸送の歩みを物語る近代化産業遺産群
33	近代の沖縄経済に貢献した『2つの黒いダイヤ』製糖、石炭両産業の歩みを物語る近代化産業遺産群

## (参考2) 近代化産業遺産群に係るストーリー 代表例

### 3 鉄鋼の国産化に向けた近代製鉄業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群

日本の近代製鉄業は洋式高炉による銑鉄生産が釜石から始まり、明治後期に九州の官営八幡製鉄所において銑鋼一環の製鉄事業が行われ、日本の基幹産業へと成長していった。その過程を示す近代化産業遺産を結ぶストーリー。



【橋野高炉跡】  
(岩手県釜石市)



【八幡製鉄所東田第一高炉】  
(福岡県北九州市)

### 13 「上州から信州そして全国へ」近代製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群

開国後、生糸を外貨獲得の為の貴重な輸出品とすべく、その安定生産を目指した我が国製糸業近代化の動きがあった。かかる近代化の動きは、富岡製糸場から始まり、まず信州へ、その後、全国へと広がりを見せた。その過程を示す近代化産業遺産を結ぶストーリー。



【富岡製糸場】  
(群馬県富岡市)



【旧山一製糸】  
(長野県須坂市)

### 29 「東洋のマンチェスター」大阪と西日本各地における綿産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群

開国後、民間により大阪紡績会社が設立され、蒸気機関の導入等の技術革新や新しい経営手法の導入により成功を収め、その後、西日本各地に近代的紡績工場が立地していった。中でも大阪は港湾開発と結びつき「東洋のマンチェスター」と呼ばれる紡績業の一大中心地となった。その過程を示す近代化産業遺産を結ぶストーリー。



【綿業会館】  
(大阪府大阪市)



【倉敷アイビースクエア】  
(岡山県倉敷市)



【熊本学園大学産業資料館】  
(熊本県熊本市)

### 31 産炭地域の特性に応じた近代技術の導入など九州・山口の石炭産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群

九州北部・山口県の炭鉱は開国以来、船の燃料、製鉄の燃料、更には輸出品としての需要の拡大に対応しながら発展を遂げた。また、高島 三池 筑豊へと人の移動と共に新技術が伝えられ、相互に影響を及ぼし合いながら近代産業のエネルギー供給源としての役割を担った。その過程を示す近代化産業遺産を結ぶストーリー。



【端島(軍艦島)】  
(長崎県長崎市)



【三池炭鉱(宮原坑跡)】  
(福岡県大牟田市)



【旧三井田川鉱業所竪坑槽】  
(福岡県田川市)

## （参考3）近代化産業遺産群のとりまとめに当たっての地域の反応

### （綿業会館について）

現在では大阪といえば「儲かりまっか」の世界ばかりが強調されているが、綿業会館が建設された昭和初期という時代は、大阪にとっては都市改造時代、ビッグ大阪と言われた時代であり、大阪が「文化都市」を目指して最も華やいでいた時代であると言える。

今回、綿業会館を近代産業遺産として取り上げていただくことで、この時代の大阪の誇りや文化性の高さに光を当てていただくことは、今後の大阪の再生に大きく寄与するものと思われる。

### （吉岡銅山について）

吉岡銅山の歴史的な意義・価値を広く伝えられるということで、大変良い機会だと考えている。別子銅山のような高名な場所と一緒に紹介してもらうことで、さらに理解を深めてもらえると思う。

今春に、数百人の市民にボランティアで参加してもらい、吉岡銅山周辺の草刈りを行ったところであり、今後、補助金などに頼らず、自分たちの手で活用を進めていきたい。

### （那珂湊反射炉について）

当市的那珂湊反射炉は、我が国近代史から見るとその存在意義、ストーリーに大きな広がりがあることをあらためて知った。面白い企画だと思う。

団塊世代の大量退職が始まるこれから、「産業遺産」の認定を契機としてこれまであまり光のあたってこなかった近代史研究や産業遺産探訪に興味を持つ人も増えるのではないかと思う。新しいツーリズムとして育つ可能性を感じる。

自治体として歴史的価値はそれなりに認識していても、単体の地域資源では魅力不足で集客、交流には役に立たってこなかったというのが正直な感想。「認定」というきっかけだけで、興味を持ち、足を運んでくれるようになるようになると思う。

### （佐渡鉱山について）

佐渡市及び新潟県は、佐渡金銀山の世界文化遺産登録を目指した取組みを進めているが、産業遺産として取り上げられることを大変喜び、感謝している。

見過ごしがちとなる近代技術史上における価値を再認識する良い機会と捉えており、今後、産業遺産であることを広く周知し、世界遺産登録に弾みがつくよう大いに活用していきたい。

佐渡金銀山を管理する「ゴールデン佐渡」も、鉱車、台車など国内で唯一残る戦前の工作機械を、来春を目途に展示する方針を固めたと聞いている。永松社長は「地味だが中身のある、学習できる鉱山博物館的な観光を目指したい」としており、産業遺産認定に伴う見学者の増加を期待している。

### （釜石の製鉄業関連遺産について）

経済産業省の産業遺産の取組みは、地域を取り巻く社会情勢が厳しさを増す中で、活性化を図るものと大いに期待しており、その取組みを一刻も早く進めて頂きたい。

産業遺産は釜石市の宝であり、産業遺産をまちづくりの象徴として位置付けて取り組んでいる。これは全国にも共通する観点と考えている。

産業遺産は、地域が誇りを持ち、困難に立ち向かい、力を合わせるということがいかに大切かを教えてくれる。このことを通じて、教育・生涯学習やグリーンツーリズム等の観光に活かしていき、元気な地域を築きたい。



### 3 . 今後の予定

- 4月10日 第1回産業遺産活用委員会（今後の進め方等）  
5月 地域から優れた価値を有する近代化産業遺産について公募  
7月12日 第2回産業遺産活用委員会（ストーリー素案の提示）  
8～10月 現地調査  
9月13日 第3回産業遺産活用委員会（とりまとめ案の提示等）  
10月25日 第4回産業遺産活用委員会（とりまとめ）  
11月 認定の同意とりつけ等

- 11月30日 「近代化産業遺産群33（報告書及びビジュアルパンフレット）」の公表  
近代化産業遺産群を構成する個々の遺産（約450件）の所有者等に対する認定証及びプレートの交付  
シンポジウム開催（横浜赤レンガ倉庫）

#### (参考4) 地域活性化に役立つ近代化産業遺産プレートについて



#### - ロゴマークのデザインが伝えていること -

ロゴマークは、基本的には、近代化産業遺産を象徴する「歯車」と「工場等の建造物」をモチーフにデザイン化したものであるが、「歯車」部分は、さらに、我が国の近代化に取り組んだ人々の熱い思いを「太陽」に似せて表現し、そこから延びる数本の線は、その熱い思いが、次第に近代化の「大きな流れ」に発展していく様を現している。

また、海外の方にも、これまで以上に、近代化産業遺産の価値を理解していただく観点から、近代化産業遺産の英語表記であるHeritage of Industrial Modernization もデザイン中に取り入れている。



#### (参考5) 「近代化産業遺産群」の英語表記について

「近代化産業遺産群」の英語表記については、

「Heritage Constellations of Industrial Modernization」

を採用し、「群」に当たる部分に「Constellations = 星座」を使用している。

これは、直接的には、ストーリーによって「群」にまとめられる近代化産業遺産の場所を地図上にプロットすると、あたかも「星座」のように見えることから来るものであるが、加えて、一見特段の意味なく並んでいる星々に、古代の人々が人や動物、物などの様々な姿を見出したように、個々の近代化産業遺産がストーリーなどを通じて連携することにより、地域活性化に向けた新たな価値を生み出していくことへの願いを込めたものでもある。

## 4 . 今後の施策展開の方向性

### 1 近代化産業遺産群の充実

3 3 以外のストーリーの公募・追加。

地域の方々による、継続的な、ストーリー及び構成遺産の充実

そのためのシステムを検討。

### 2 週刊誌における連載、書籍化等を通じた近代化産業遺産群の更なる普及

### 3 近代化産業遺産の活用により地域活性化に取り組む地域に対する、中小企業地域資源活用促進法の枠組みを活用した支援

### 4 地域における近代化産業遺産の持続的な保存・活用のための方策の検討（保存・活用に係るビジネスモデル構築の検討等）

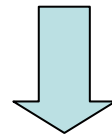
(参考6) 近代化産業遺産の保存・活用に係るビジネスモデル構築に当たっての問題意識

個々の地域において熱心な取り組みは見られるものの、課題も多い

厳密に保存すべきもの、別用途に利活用すべきもの等が明確に仕分けされておらず、保存が進んでいないのではないか？（どれもこれも残しがち 負担感大 保存進まず）

企業内の近代化産業遺産の見学等のノウハウが確立されていないのではないか？（日常的な開放は企業にとって負担感大）

対価を払ってもらえるほどのハイ・クオリティな情報を提供できていないのではないか？（地域史・産業史における位置づけを欠いた体系的でない遺産単体の情報を提供しがち。適切な「語り部」も不足がち。）



今後は、『必要十分な保存』と『対価を得ることができるハイ・クオリティな情報の提供』が鍵

個々の近代化産業遺産に関する正確かつ豊富な知識・情報の提供  
各近代化産業遺産所在地域の大学、研究所等の活用

ストーリーに沿って体系的に見学等することを可能にする仕組みの整備  
関係する近代化産業遺産所在地域間の広域的連携（広域的な学習プログラムの「編集」）

近代化産業遺産を、保存の費用対効果や採算性を念頭に置いて維持していく仕組みの整備  
費用対効果や採算性を念頭に置いた持続的な活用・保存プランの策定

# (参考7) ビジネスモデルのイメージ

